



名護高校だより

2018年7月19日
第6号
校長 大城 健

明日1学期終業式、有意義な夏休みにしよう！

1学期は、遠足や新入生歓迎球技大会、生徒総会など、HR活動、生徒会活動に生徒達は積極的に取り組んでくれました。また県高校総体はじめ、部活動においても生徒達は日々練習を積み重ね、全力で取り組んでくれました。7/21(土)より夏休みが始まりますが、3年生にとっては大学受験等の進路実現に向けてたいへん貴重な期間となります。時間を最大限有効に活用し全力で頑張ってもらいたい。2年生1年生にとっては、授業の復習、予習に努めるとともに、部活動はじめ自己を成長させる夏休みにしてもらいたい。保護者の皆様、夏休み期間中、生徒の生活リズム等の維持と家庭学習等のご指導よろしくお祈りします。



3の4遠足(ジャンプ)

体力テスト実施、全校生徒挑戦



反復横跳(体育館)

7/11(水)体力やスポーツ活動の基本となる運動能力の現状を確かめ、その結果に基づいて不足している能力を高める努力をすること、またスポーツに親しみ、心身を鍛練し、健康に生活できるようにする目的で「体力テスト」を実施しました。種目は「握力」「反復横跳び」「上体起こし」「長座体前屈」「ハンドボール投げ」「50m走」の6つです。気合いを入れて「握力」測定に臨む生徒、歯をくいしばり必死に「上体起こし(腹筋)」に臨む生徒、全力疾走の「50m走」と生徒達は一生懸命各種目に取り組んでいました。



疾走:50m走

名護警察署と連携「安全講話」実施

7/18(水)名護警察署から宮里竜太氏、神里光氏を招き、交通安全等に関する講話を行って頂きました。宮里氏からは、実際の交通事故映像をふまえ、車両運転のルール・マナーについて話して頂きました。自制心をもった安全速度、安全運転。飲酒運転は自他の人生を奪う、絶対にいけない。自転車走行のルール、保険加入の必要性(1億円の損害賠償例あり)等。神里さんからは、暴力団、違法薬物の危険と身を守る術について話して頂きました。深夜徘徊の危険を改めて認識できました。

文武両道を目指し、さらに頑張ろう！

本校は、戦前の県立第三中学校、第三高等女学校を前身とした90年の歴史を誇る伝統校です。これまで進路面でも多くの実績をあげ、1972年の本土復帰以前は旧帝大などの難関大学にも進学者を輩出する学校でした。復帰後は難関大学進学が困難になり、平成10年代前半は国公立大学合格者が1桁になるなど厳しい時期もありました。その後生徒、職員の努力により平成17年度には国公立大学合格者が20名となり、平成22年度以降は名桜大学の公立化の好影響もあり、国公立大学合格者が40～50名に回復しました。そして昨年度、普通科・フロンティア科合わせて国公立大学合格76名、私立大学も含めると195名の快挙を成し遂げました。部活動でも全国大会に5部、九州大会に11部が出場しています。生徒の皆さん、大学・専門学校・就職と自らの目標をしっかりと掲げ、名護高生らしく、文武両道でたくましく高校生活を送って下さい。

今年の課題 → **家庭学習頑張ろう！**

名護高生一人一人の努力に期待しています。

国公立大学現役合格者数の推移

